

当院で維持透析を受けられた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究のために過去の記録が用いられることについて患者さんもしくは患者さんのご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、[お問い合わせ]までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

また、この研究については、KKR 高松病院治験審査委員会の審議にもとづき病院長の許可を得ています。

[研究課題名] 当院における透析膜イメージモデルの作成と膜選択への活用

[研究機関] KKR高松病院（病院長：森 由弘）

[研究責任者] 血液浄化センター 臨床工学科 石川尚輝

[研究の目的] 透析条件^{※1}に違いにより透析で除去される物質やその量がどう変化するか調査し、透析効率^{※2}をグラフにし、視覚的に把握しやすいイメージモデル（図）作成する。

※1: 透析条件：透析膜の種類、血流量、透析液流量、濾過速度

※2: 透析効率：中分子物質（ $\beta 2$ ミクログロブリン、 $\alpha 1$ ミクログロブリン、アルブミン）の除去率・除去量

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2021年4月1日から2026年3月31日の間に当院で維持血液透析を受けられた方のうち、至適透析が行えているか確認するため、血液検査および透析液排液検査を行った方

※透析液排液検査：透析液の排液を一部採取し、排液中に含まれる（除去された）物質を検査する

●利用するカルテ情報（2021年4月1日～2026年3月31日までの下記情報を利用します。）

性別、年齢、透析歴、透析後の体重、除水量、除水速度、透析膜の種類、希釈方法、血流量、透析液流量、濾過速度、血液検査データ、透析液排液検査データ、透析中の圧データ（静脈圧、透析液圧、動脈圧、膜間圧力差）

[研究期間]

病院長の許可日～2027年3月31日（利用を開始する日：2026年8月24日予定）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。本研究に関する情報は研究責任者により適切に管理・保管されます。

[問い合わせ先]

高松市天神前4番18号

KKR高松病院 血液浄化センター 担当 石川尚輝

電話 087-861-3261(代) FAX 087-834-0199